



SONIC CITY

2023 SERIES

2:00pm, March 16th (SAT),

2024

142

ソニックシティ 2023 シリーズ 第 142 回さいたま定期演奏会
2024年3月16日(土) 午後2時開演 / ソニックシティ 大ホール

第142回さいたま定期演奏会 日本フィルハーモニー交響楽団

チャイコフスキー：バレエ《白鳥の湖》 ソニックシティ特別版

Pyotr TCHAIKOVSKY: Ballet "Swan Lake" [Sonic City Ver.]

第一幕

1st Act

情景

ワルツ

乾杯の踊り

終曲

第二幕

2nd Act

白鳥たちの踊り

ワルツ

アダージョ

小さな4羽の白鳥の踊り

終曲

休憩

(20分)

第三幕

3rd Act

情景

ハンガリーの踊り
(チャルダッシュ)

スペインの踊り

ナポリの踊り

マズルカ

各国の姫

黒鳥のパ・ド・ドゥ

第四幕

4th Act

白鳥たちの踊り

オデットの帰還

嵐

アダージョ

終曲

指揮：**角田鋼亮**

Conductor: TSUNODA Kosuke

バレエ：**牧阿佐美バレエ団**

Ballet: Asami Maki Ballet Tokyo

コンサートマスター：**木野雅之** [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

照明：**山本英明** (劇光社)

舞台監督：**森脇由美子**

主催

公益財団法人埼玉県産業文化センター／さいたま市／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援

埼玉県／埼玉県教育委員会／さいたま市教育委員会／埼玉県吹奏楽連盟

協賛

FV ジャパン株式会社

表紙作品提供 埼玉県立新座総合技術高等学校 デザイン専攻科 菅田 七虹

作品名「共奏」 作者コメント「私は連なる多種多様な音たちをカラフルな波ととらえ、音色の個性を表現するためにモダンテクニックを素材に用いました。」

【アンケートのお願い】 今後のソニックシティ主催公演の参考のため、アンケートへの協力をお願いいたします。アンケートにお答えいただきました方の中から抽選で3名様に本日の出演者・角田鋼亮氏のサイン色紙をお送りいたします。以下のQRより、スマートフォン・タブレットからお答えください。(所要時間約5分)



▶公演終了時、カーテンコールの写真撮影が可能になりました。撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。是非、コンサートの感動を多くの方と分かち合ってください。SNS等への投稿の際は、#ソニックシティの追加をお願いします



©Makoto Kamiya

指揮：角田 鋼亮

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクールで第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団などと共演している。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市立文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。2018年よりセントラル愛知交響楽団常任指揮者を務めている。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2024年度よりセントラル愛知交響楽団音楽監督に就任予定。

© 鹿摩隆司



牧阿佐美バレエ団

日本バレエ界の草分けの一人である橘秋子が1933年に設立した橘秋子バレエ研究所及びバレエ団を母体として、1956年に牧阿佐美バレエ団を創設。牧阿佐美を中心に、国内外で活躍する多くの舞踊家、振付家を輩出してきた。1971年から牧阿佐美、1994年から三谷恭三が芸術監督を務める。多くの作品レパートリーと舞台の水準の高さで、常に日本バレエ

界の一線に立ち多彩な活動を展開。所属するダンサーは、芸術選奨をはじめとする内外の名誉ある賞を受賞するなど、舞踊手の層の厚さにも定評がある。これらは、継続的な公演活動とともに、関連の橘バレエ学校やAMステューデントズなどの一貫した教育システムによる充実した指導の成果として注目されている。より質の高い舞台づくりを目指し、欧米を中心に海外から著名な舞踊家、振付家、教師、美術家を招聘し、国際的な活気溢れる芸術交流の場としても常に高い評価を得ている。チャイコフスキーの三大バレエ「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」をはじめとする多くの古典全幕バレエ、ローラン・プティなど近代の著名な振付家の名作、多彩なコンテンツポラリー作品に及ぶ幅広い上演は、日本初演も多い。2016年、創立60周年記念公演として新制作したオリジナル作品『飛鳥 ASUKA』は、映像との斬新なコラボレーションで大きな話題を呼び、海外公演でも好評を博している。http://ambt.jp

「白鳥の湖」キャスト	オデット / オディール	三宅里奈	ジークフリート王子	近藤悠歩
	第1幕	ワルツ	光永百花 阿部千尋 西山珠里	今村のぞみ 中島哲也 坂爪智来 米倉大陽 正木龍之介
	第2幕・第4幕	小さな4羽の白鳥	阿部千尋 檀上侑希 鰐淵ののか	山本翔子
		白鳥	光永百花 西山珠里 今村のぞみ	土川世莉奈
第3幕	チャルダッシュ	西山珠里 坂爪智来 鰐淵ののか	山本翔子 中島哲也 米倉大陽	
	スペインの踊り	土川世莉奈 正木龍之介		
	各国の姫	光永百花 阿部千尋 今村のぞみ	檀上侑希	

チャイコフスキー 『白鳥の湖』

【あらすじ】

王子のジークフリートは、城でおこなわれる舞踏会で結婚相手を選ぶよう、母親に言いつけられる。憂鬱な気分で夜の湖に出かけた彼の前に1羽の白鳥が現れ、美しい娘に変身する。娘はとある国の王女のオデットというが、悪魔の呪いで白鳥に姿を変えられ、夜にしか人間の姿に戻ることのできない身体となっていた。オデットに真の愛を捧げる若者だけが呪いを解けることを知ったジークフリートは、自分こそがそれを成し遂げることを誓う。

翌日の城の舞踏会。謎の騎士ロットバルト（実はオデットに呪いをかけた悪魔）に連れられた娘オディールが現れ、王子を誘惑する。オディールがオデットにそっくりだったため、オディールをオデットと思い込んだジークフリートは、その場で結婚の誓いを立ててしまう。その途端、ロットバルトは正体を現し、彼をあざ笑って去っていく。

ジークフリートは自らの過ちを悔い、オデットのいる湖へ向かう。彼は真の愛を貫くことができるのか？そして2人の運命は？？

【解説】

1875年、チャイコフスキー（1840-93）は、モスクワのボリショイ劇場から新作バレエの作曲を依頼される。当時のバレエ音楽は、劇場付きの音楽家が手掛ける請負仕事であり、芸術的な価値が低いと考えられていたのだが、ボリショイ劇場としてはそうした傾向に風穴を開けようと考えたのだろう。またチャイコフスキーの側も、ローカルカラーの強かったロシア音楽の世界に西欧の風をもたらす作風で頭角を現していただけのことはあり、劇場側の新たな試みに応える。

こうして1875年から76年にかけて作曲され、1877年にボリショイ劇場で初演されたのが、バレエ音楽『白鳥の湖』（初演版）だ。ただし初演そのものは様々なアクシデントが重なったこと、またチャイコフスキーがバレエ音楽を書いた経験がなかったこと等の理由で、彼自身が期待していたような大成功とはならなかった。また劇場側の財政緊縮政策で、1883年を最後に上演レパートリーからも外されてしまった。

その後、チャイコフスキーは帝立バレエ団（本拠地はサンクトペテルブルクのマリインスキー劇場）との繋がりを強め、同劇場で上演されるバレエ『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』の音楽を作曲する。そしてこれらがヒットしたこと、『白鳥の湖』の復活上演プロジェクトが持ち上がるのだが、チャイコフスキー自身が1893年に急逝。作曲者本人が不在のまま、1895年の復活上演に向けて第三者が様々な改訂を加えてゆく。

特に顕著だったのが、初演版においては全4幕だった筋書が全3幕にまとめ直され、ストーリー展開にスピード感が加えられたこと。結末も、初演版では王子がオデットの命を奪い、2人は洪水で流されるという破滅的なものが、改訂版ではオデットが自ら死を選んで王子も後を追ひ、2人の犠牲によって悪魔が減びるというものになった（なお、その後おこなわれた様々な上演では、結末に関して様々な解釈や演出が施されている。）

さらに音楽についても、帝立バレエ団の指揮者だったドリゴ（1846-1930）が、原曲の一部を削除したり曲順を入れ替えたり、さらにはチャイコフスキーの別の楽曲を挿入したりした。結果、初演版においてチャ

イコフスキー自身が緻密に構成した音楽的な内容は大きく崩れてしまったが、バレエとしては見せ場のバランスがとれるようになった。

いずれにしても、オペラのように歌詞がつくわけではなく、視覚的な情報によって筋書が展開するバレエ音楽というジャンルに他ならない。またそれにふさわしく、色彩豊かなオーケストレーションや描写音楽に長けていたチャイコフスキーの腕が冴えわたる。今回はソニックシティのための特別バージョンということで、バレエとしての魅力はもちろん、『白鳥の湖』の音楽的魅力をも存分に味わえる貴重な機会である。

column

音楽と植物 その⑦ 2023 / 24年のシーズンでは、音楽と植物をテーマとした コラムをお楽しみください!

「白鳥の湖」に込められた思い

そのものずばり、「白鳥の湖」という名前のバラが存在する。文字通り、清らかな白鳥の姿、さらにはジークフリートとオデットの純愛のように、凛と白い。

このバラを開発したのは、サム・マクレディ4世（1932-2019 以下「4世」と略）。マクレディ家は19世紀以来、北アイルランドでバラを育てる農場を営み、当主は代々「サム・マクレディ」と名乗って来た。そんな由緒正しき家柄の4代目が、1968年にこのバラを開発した。しかも彼はその4年後の1972年に、この北アイルランドを後に、家族とともにニュージーランドへ移住してしまう。なぜだろう？

4世としては、温室を用いずに新種のバラを開発し、それらある程度数以上育ててゆける環境が必要だったということだった。また最大のマーケットであったアメリカに近い、という事情も存在したらしい。

ただしそれは、ある意味表向きの、あるいは実質的な理由にすぎなかったのではないか。4世の故郷である北アイルランドでは当時、この地の領有を巡るイギリスとアイルランドの地域紛争、いわゆる「北アイルランド問題」が激しさを増していた。またそうした中で、血で血を洗う暴力が炸裂し、いつ自分や家族の身に危険が及んでもおかしくない状況が続いていた。

こうして4世は、自身にとって切っても切れないルーツである北アイルランドを去って新天地へ赴いた。そしてこの異郷の新天地で、新種のバラを次々と発表し続けた。そして彼の死をもって、サム・マクレディの系譜も絶えることとなる…。


「白鳥の湖」が発表された1968年、北アイルランド紛争は日に日に激しさを増していた。また、そのように暴力と不寛容が大手を振るう状況の中で作った「白鳥の湖」に対し、4世はどのような思いを託していたのか。

ちなみにロシアの独立系テレビ局だったドーシチは、2022年のロシアのウクライナ侵攻をめぐる報道内容を理由に、当局から放送免許をなく奪われる。その最後の放送の終わりに流された曲こそ、チャイコフスキーのバレエ音楽『白鳥の湖』の一部だった。

曲目解説：小宮正安


日本フィルハーモニー交響楽団
第143回さいたま定期演奏会
2024 **5.17** FRI
指揮：井上道義 チェロ：佐藤晴真

©Yuriko Takagi ©Seichi Saito

公演詳細


日本フィルハーモニー交響楽団
第144回さいたま定期演奏会
2024 **7.6** SAT
指揮：鈴木優人 サクソフォン：上野耕平

©MARCO BORGGREVE

公演詳細



日本フィルハーモニー交響楽団
第145回さいたま定期演奏会
2024 **9.13** FRI
指揮：原田慶太郎 ヴァイオリン：辻彩奈

©MASATOSHI YAMASHIRO ©Makoto Kamiya

公演詳細



日本フィルハーモニー交響楽団
第146回さいたま定期演奏会
2024 **11.9** SAT
指揮：小林研一郎 ピアノ：小山美稚恵

©MICHIKO YAMAMOTO ©HIDEAKI OTSUKA

公演詳細


日本フィルハーモニー交響楽団
第九演奏会 2024
2024 **12.13** FRI
指揮：下野竜也 ソプラノ：富平安希子 アルト：小泉詠子
テノール：糸賀修平 バリトン：宮本益光
合唱：埼玉第九合唱団

©NAOYA YAMAGUCHI ©YOSHINOBU FUKAYA shira

公演詳細


日本フィルハーモニー交響楽団
第147回さいたま定期演奏会
2025 **1.11** SAT
指揮：沼尻竜典 ヴァイオリン：三浦文彰

©RYOICHI ARATANI ©Yuji Hori

公演詳細


日本フィルハーモニー交響楽団
第148回さいたま定期演奏会
2025 **3.15** SAT
指揮：梅田俊明 バレエ：牧阿佐美バレエ団

©K.MIURA

公演詳細


会場：ソニックシティ大ホール

■ チケット価格 (単独券) 「第九」、「バレエ」公演の価格は通常公演とは異なります。

S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys (19歳以下)：2,000円 (5.17/7.6/6.13/11.9/2025.1.11)

S：7,000円 A：5,500円 B：4,000円 Ys (19歳以下)：2,000円 (12.13/2025.3.15)

ホールメンバーズ、チョイス券など、各種割引あり。



日本フィルハーモニー交響楽団

カーチュン・ウォン 2024年5・6月演奏会



■第760回東京定期演奏会

2024年5月10日(金) 19:00
11日(土) 14:00
サントリーホール

マーラー：交響曲第9番

S¥8,000 AY¥6,500 B¥6,000 C完売 P¥4,000
Ys(25歳以下) ¥1,500

■第255回芸劇シリーズ

2024年6月2日(日) 14:00
東京芸術劇場

箏：遠藤千晶

坂本龍一：箏とオーケストラのための協奏曲

坂本龍一：地中海のテーマ

(1992年バルセロナ・オリンピック開会式用音楽)

S¥7,000 AY¥5,500 BY¥5,000 C¥4,000

Gs(65歳以上)¥4,000 Ys(25歳以下)¥1,500

■特別演奏会

2024年5月25日(土) 14:00
昭和女子大学人見記念講堂

■第404回名曲コンサート

2024年5月26日(日) 14:00
サントリーホール

ピアノ：小菅優

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番

チャイコフスキー：交響曲第5番

【5/25公演】S¥6,000 AY¥4,500 B¥3,500

Gs(65歳以上)¥3,500 Ys(25歳以下)¥1,500

【5/26公演】S¥8,000 AY¥6,500 B¥6,000 C¥5,000

P¥4,000 Gs(65歳以上)¥5,000 Ys(25歳以下)¥1,500

お問い合わせ 日本フィル・サービスセンター TEL: 03-5378-5911 (平日10時-17時)
お申込み eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

速報!

西本智実「ノスタルジー」

with 三浦祐太郎

—山口百恵名曲集—

原典提供©



演奏作品

「さよならの向う側」

「秋桜」

「いい日旅立ち」

「プレイバック Part2」

「夢先案内人」

「イミテーション・ゴールド」

「美・サイレント」

「絶体絶命」

「横須賀ストーリー」

映画「ひまわり」(作曲:ヘンリー・マンシーニ)

映画「ロミオとジュリエット」(作曲:ニーノ・ロータ)

「キス・ミー・ケイト」より「So in Love」

(作曲:コール・ポーター)(日曜洋画劇場エンディング曲)

他

※曲目は変更となる場合がございます。ご了承ください。

2024年12月7日(土) 開演15時(開場14時)
大宮・ソニックシティ大ホール

音楽監督&指揮:西本智実

ヴォーカル:三浦祐太郎

管弦楽:イルミナートフィルハーモニーオーケストラ



公演オフィシャルサイト

主催:RENAISSANCE CLASSICS、公益財団法人埼玉県産業文化センター

後援:エフエム東京 協力:ディスクカレッジ 企画制作:RENAISSANCE CLASSICS、オフィステン

チケット

プラチナ9,000円 / ベアチケット17,000円
S 7,500円 / ベアチケット14,000円
(税込、全席指定、特製プログラム付)

一般発売

好評発売中

お問合せ

DISK GARAGE
<https://www.diskgarage.com/>

ホールメンバーズ

好評発売中

<インターネット>

<https://www.sonic-city.or.jp/>

※ネット予約のご利用には最初に利用登録が必要です。

<電話> 048-647-7722 (平日9:00~17:00)



RENAISSANCE CLASSICS



SONIC CITY